

市長

(1)PRの方法については、チラシやホームページ等のあらゆる広報手段を使い、市内外に広く呼び掛けたい。また、東京大村会をはじめ、地元高校の同窓会等にも呼び掛けていきたい。

寄附の目的については、単に寄附をお願いするだけではなく、皆さんのふるさとである大村が自然豊かで誇りある歴史を大切にしながら、市民や行政が一生懸命頑張っていること、それに対する寄附金の使い方等も具体的に示しながらPRに努めたい。

寄附をされる方は、寄附という形で大村のまちづくりに参加していただくとともに、この制度の特徴である税制面でのメリットがあるので、継続的に寄附していただけるよう制度の周知と定着を図るため取り組みたい。

教育長

(2)放課後子どもプラン運営委員会を5回開催した。平成21年度までにプランを作成することになっており、現在素案ができたところである。加えて、放課後子ども教室の実施場所の確保、安全管理、広報活動、ボランティア等の地域の協力者の人材確保等について、協議、検証しながら取り組んでいきたい。連携の方策については、運営委員会、教育委員会、福祉部局と一緒に協賛していききたい。

「戦没者への畏敬の念」と**子ども達の追悼式への参加について****宮本議員**

(1)福祉行政について

日本の繁栄と家族等を案じて散華なされた、御霊を追悼する戦没者追悼式が行われたが。

市長の追悼の言葉に、幾多の犠牲を次の世に語り継ぐとあったが、哀悼の誠を捧げてご冥福を祈ったことを誰に語り継ぐのかお尋ね致したい。また、時津町では多くの町民や小・中学生の代表12名の生徒が献花をしている。大村市でも2年前から県の戦没者追悼式が体育文化センターで行われているが、市でも学校教育の一環として追悼式に生徒を参加させる考えはないかお尋ね致したい。

(2)教育行政について

放課後子どもプランには福祉法人等を含めるとあり誠に曖昧なものと言わざるを得ない。策定に当たっては出来る限り、空き教室の利用や学校施設内での実施を考慮するなど、特段の支障がない限り当該施設での実施は、差し支えないとの事であるがどの時点で実施するのか。

市長

(1)次の世代とは、私どもの子どもや孫たちを含めた若者た

ちだと思う。戦争を全く知らない子どもたちに平和に関する学習機会を通して戦争の悲惨さ等について、いかに平和が大切であるかを語り継いでいかなければならないと考えている。

教育長 追悼式に参加することで、

平和の気持ちが育つということもあるが、まず子どもたちの心の教育、平和の気持ちを育てるのが大事であると思っている。したがって、参加するかどうかということについて、今答弁はできないということでご理解いただきたい。

(2)子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもたちが安全で安心できる活動場所、居場所の確保を図り、地域の中で自然体験等を通じて、世代を超えて交流しながら社会性や道徳性が育まれるよう、実施に向けて取り組んでいる。

本事業を推進していくために、地域の多様な方々にコーディネート、パイザーとしての参画を得て、地域住民との交流活動や学習活動等に取り組むことが必要である。したがって、推進にあたり、運営委員会を中心に広く意見を聴取して、具体的な実践として取り組んでいきたい。

(その他の質問事項)

・長崎県水質保全条例について。
・三城城址、地権者の同意取得は。

○原油高による農業・漁業支援と物価対策は！

○競艇事業のナイトレースについて

田崎議員

(1)揮発油税の暫定税率の復活と原油高でハウス栽培農家や漁業従事者は経営が厳しくなり、更に輸送コストの増加などで食料品などの物価が値上がりしている。農業、漁業従事者への救済策と物価対策はどのように対処されるのか。

(2)競艇事業のナイトレースの開催について

競艇事業は平成17年から3年連続黒字決算となりました。この事は、市長、競艇企業局の努力の結果であるが、競艇事業従事者の大量退職と賃金カットなどの大幅な合理化を受け入れた結果であると思う。

更に売上げ増収を図るため、36億円をかけてナイトレースを計画し年間売上げ108億円、純利益6億円を見込んでいますと聞くと、この不景気のおり費用対効果を考えると思惑どおりなのか。経費を取り戻す事が出来ず赤字に転落するのではと危惧しているが、見通しはどうか。また、従事員の健康管理は？

市長

(1)市長会においても国に対し具体的な財政支援策を要望し